

ナチュラルファー

責任の選択



ナチュラルファー 責任の選択

包括的なレポート

ナチュラルファーは農村地区の養殖業から世界中のスタイリッシュな都市の設計と手作業まで数百万の雇用機会を創出しました。

13

ナチュラルファーは人工毛皮よりも埋立地や海洋への影響が少ないクリーンで持続可能でファッショナブルな素材です。

19

ナチュラルファー産業は責任があり、事業の核心は高い基準の動物福祉と持続可能性を追求するのです。

31

ナチュラルファーは長い伝統を持つモダンな素材で、さまざまな年齢層のデザイナーや消費者を魅了しています。

41









第一章

ナチュラルファーは農村地区の養殖業から世界中のスタイリッシュな都市の設計と手作業まで数百万の雇用機会を創出しました。

ナチュラルファーは農村地区の養殖業から世界中のスタイリッシュな都市の設計と手作業まで数百万の雇用機会を創出しました。

ナチュラルファーは自然の中で最も魅力的な贈り物のひとつで、その美しさと暖かさで賞賛されています。それは時間を超越し、無数の感情を呼び起こす究極の魅力を持っています。また、最も触覚的な素材の一つであり、その多機能性はデザイナーと消費者を魅了します。

現在、ファー小売業界だけで300億ドル以上の価値があります。2015年（1）には、世界的な毛皮製品の総額は約41億ドルです。他のファッション製品は毛皮ほど世界にとって重要のが一つもありません。人間社会の起源にまでさかのぼると、毛皮は最近の氷河期に人間が生き残ることを可能にし、人間がアフリカの外に移動することを可能にしました。

歴史のなかで、ファーは人間のアイデンティティ、文化、社会規範を形成する上で重要な役割を果たしました。グローバリゼーションの正式な成立前に何世紀もの間、ファー業界はずっと世界的な産業でした。今日では、その産業は養殖農場、中小企業、オークションハウス、ブローカー、バイヤー、染色会社、製造業者、小売業者、および業界団体からなる国際的な産業チェーンを通じて

（1）

Hansen, H.O. (2017)。世界的な毛皮産業 2016-17この論文はロシアの毛皮養殖夏季カンファレンスSvetlogorsk (Kaliningrad) (ロシア連邦) で公表されましたhttp://static-curis.ku.dk/portal/files/183502174/_Svetlogorsk.pdf

複数のステークホルダーを持つすべてのグローバル企業が直面している大きな課題の1つは持続可能なビジネスをいかに行うかです。耐久性のある天然素材として、それは持続可能な選択を表し、今日の「ファストフ

ァッション」とはまったく異なります。しかし、毛皮の環境特性は無条件ではありません。毛皮の持続可能な発展の可能性を十分に発揮するためには、業界の絶え間ない努力が必要です。

毛皮業界の今後の展望は継続的な改善のコンセプトと持続可能性によって推進されています。私たちは個人や家族、地域社会に発展と機会を提供することにより、地域の経済的、社会的、環境的パフォーマンスを改善するために取り組んでいます。このようにして、私たちは人間の創造性を高め、耐久性のある高品質の製品の生産を保証したいと考えています。

私たちはまた動物福祉の最高水準に適合する毛皮を私たちの能力の範囲内で提供すると同時に、社会環境への悪影響の軽減に貢献することを望んでいます。



国際毛皮協会

1949年に設立された国際毛皮協会（IFF）は国際的な毛皮産業を代表し、その行動と貿易を規制する唯一の組織です。ロンドンに本拠を置くIFFには米国、ヨーロッパ、アジアなど50カ国・地域のメンバーがいます。この協会は毛皮の貿易を促進し、動物福祉および環境に関する認証およびトレーサビリティ・プロジェクトを確立することを目指しています。同協会はファッション業界でファー業界に従事する予定の若手デザイナーや小売業者を支援することも約束しています。

毛皮ヨーロッパ

毛皮ヨーロッパはベルギーのブリュッセルに本社を置き、主にヨーロッパに集中しており、養殖者、飼料加工業者、オークションハウス、毛皮代理店、製造業者、マーケティングおよび毛皮小売業者を含むヨーロッパの毛皮産業チェーン全体の利益を維持することを目指しています。

ナチュラルファーは農村地区の養殖業から世界中のスタイリッシュな都市の設計と手作業まで数百万の雇用機会を創出しました。





第二章

ナチュラルファーは人工毛皮よりも埋立地や海洋への影響が少ないクリーンで持続可能でファッションナブルな素材です。

ナチュラルファーは人工毛皮よりも埋立地や海洋への影響が少ないクリーンで持続可能でファッションナブルな素材です。

しかし、ナチュラルファーの本質的な持続可能性にもかかわらず、「リサイクル可能な経済」を促進することができる多くの側面がまだあります。「リサイクル可能なファッション」とは完全に生分解性で、リサイクル可能で、再利用、リサイクル、堆肥化などの効果をもたらすより多くの製品を生産するために、地方の資源を使用することです。

毛皮はサステナビリティにもさまざまな影響を及ぼし、野生であるか農場養殖であるかによっても異なります。

ワイルドファー

ワイルドファーは世界の毛皮生産の約20%を占め、北米毛皮生産の50%近くを占める純粋に自由成長する地域的な有機衣料品です。

現代の北米の野生の毛皮取引は成功した持続可能なケースです。これは厳しい規則と独立した運営管理のおかげです。さらに重要なのは北米の野生動物の数はこれまでどおり豊富であるということです。今日使用されている天然毛皮はすべて多数の種からのものであり、絶滅のおそれのない種ではありません。

世界のほぼすべての国が毛皮の動物で「制御」されていますが、米国、カナダ、ロシアだけが、数千の地元ハンターの商業的利益を維持するために使用される複雑なビジネスライセンスと規制制度を持っています。北米の経験は野生生物の持続可能な利益が野生生物集団に利益をもたらすことを示しています。コミュニティと政府は国民の狩猟プログラムの資金調達と運営に納税者の資金を使用するだけでなく、収穫状況と集団健康の監視に従います。これは本当に自然で持続可能で、自然への影響を最小限にする方法です。



連邦、州、省、および地域レベルの野生生物専門家によって規制されている野生動物の数は狩猟によって管理されています。



毛皮養殖

ほとんどの毛皮は農場からのものです。これらの農場のほとんどは家庭で運営されており、一部は土の悪い状態または天候の悪い状況にあります。これらの条件はほとんどの農業活動を実行するのを困難にしますが、毛皮の動物を育てるのに適しています。

毛皮の養殖は「経済再生」のための多くの機会を提供します。例えば、ミンクやキツネの飼料は主に鶏肉、牛、魚、乳製品などの食品サプライチェーンの廃棄物を使用して新しい生産プロセスを提供し、埋立て材料の量を削減します。

毛皮の動物自身も持続可能な選択を提供し、特にミンクです。

暖房にはミンクを使用できます。それが骨粉に加工されると、残渣はおがくずと同じ熱量を発生します。この骨粉は肥料としても使用され、ヨーロッパ各地に輸出されています。焼却の過程にある灰も有用です。セメント、コンクリート、アスファルトの不可欠な部分として使用されています。同時に、ミンクからの脂肪はバイオディーゼルを生産するために使用され、バイオディーゼルは化石ディーゼルに加えられます。バイオ燃料はより信頼性の高い燃料供給を保証し、さらに重要なことには二酸化炭素の排出を削減します。欧州連合は2020年までに輸送セクターで再生可能エネルギーの10%を使用するように指令していますが、ミンク油脂はこの分野に大きく貢献しています。

2012年10月と11月の毛皮ヨーロッパ (Fur Europe) による調査によれば、毛皮動物の体の68.42%まで使用することができます。デンマークのミンク養殖は既に100%の利用率を達成することができます。これも業界全体の確立された開発目標です。

同様に、毛皮の培養物の副生成物はほとんど浪費されず、その高いリン含量および異種種子の欠如はそれらを優秀な有機肥料の主要な供給源にします。





硝染段階

5つの国際オークションハウスのうちの1つが毛皮を販売する場合、最初の産業チェーンエクスペリエンスは硝染です。硝染貿易はより環境にやさしい方法の発展と促進を続けている国際毛皮硝染協会 (IFFDA) によって組織されています。

欧州議会 (EC) 1907/2006および2006年12月18日の化学物質の登録、評価、許可および制限 (REACH) に関する規則。

REACHの主な目的は代替試験法の促進、国内市場での物質の自由な流通、競争力と革新の強化を含む人の健康と環境保全の高いレベルを確保することです。

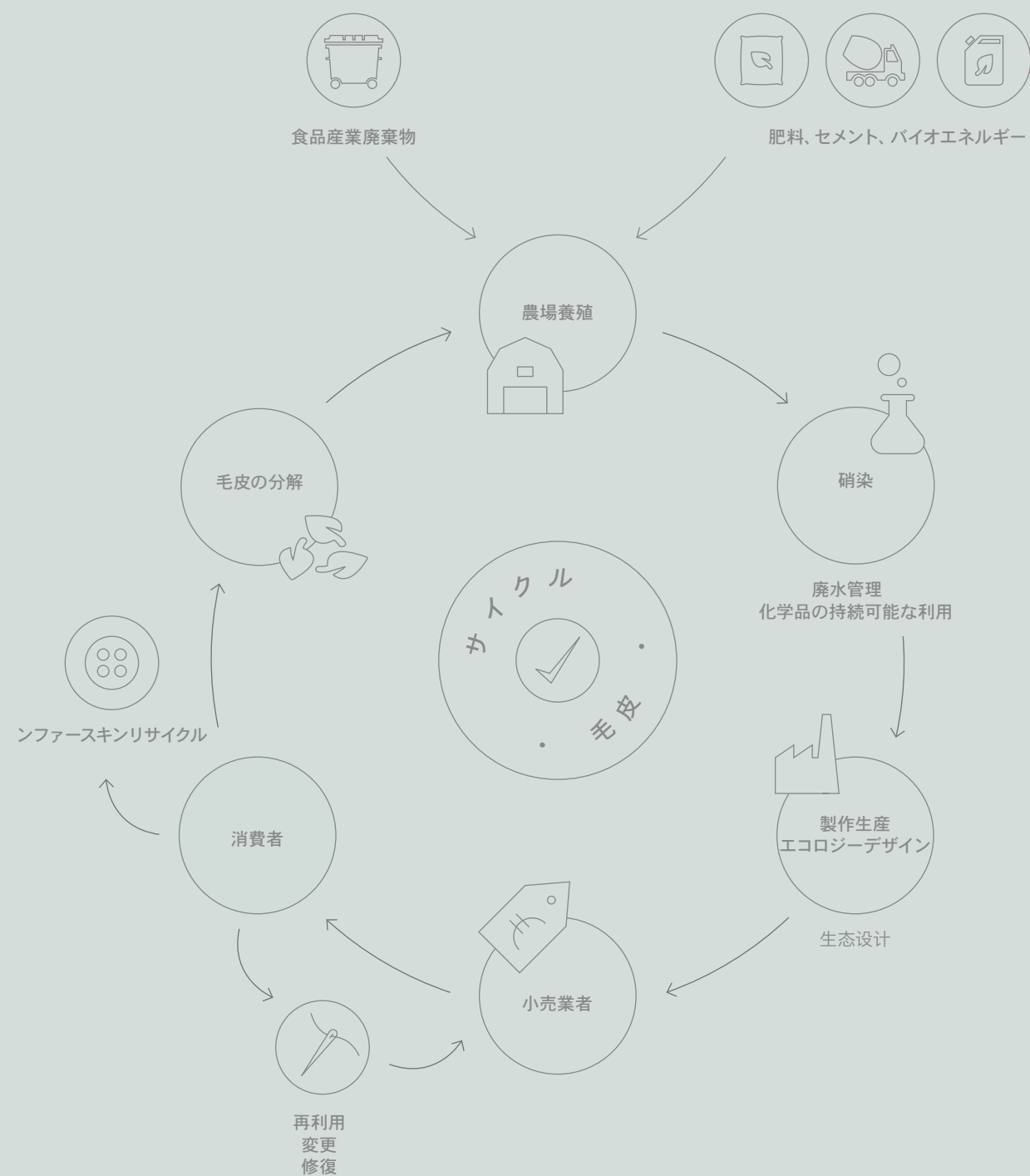
欧州議会 (EC) 850/2004規則および2004年4月29日、持続性有機汚染物質に関する規則。

この規制はPOPを含む廃棄物の環境処理やPOPs (ダイオキシンやフランなど) の偶発的排出の削減を含む意図的に製造されたPOPの製造と使用を禁止または厳しく制限しています。

硝染プロセスにおいて使用される化学物質の量には限界があり、そのほとんどは無害です (例えば海塩、ミョウバン)。このプロセスはEU REACH (2) 指令によって厳格に規制されています。「環境保護法」および「カナダ環境保護法」はそれぞれ米国およびカナダにおける化学物質の使用を規制しています。ファーオークションハウスは硝染企業との優先的協力を検討しており、より環境にやさしい硝染方法の試行を支持しています。これは毛皮産業の産業チェーンのより持続可能な発展を促進する協力事例です。(29ページ、ナチュラルファー環境保護プロジェクト、FECを参照してください)

ファー業界はファッション業界の環境への影響を改善するために、グローバルスタンダードを精査しています。一部の硝染者は業界をリードするOeko-Texテストおよび検証プロセスに合格しています。認証は工場環境の持続可能性、処理に使用される化学物質、および負の影響なしに着用者への消費者の信頼を含む重要な優先課題に取り組んでいます。業界は業界で毛皮の硝染作業が現在最高の環境基準に達していることを実証するために、認証機関と引き続き交渉する予定です。

毛皮産業はリサイクル可能な経済を促進します



消費、廃棄物および排出物処理

持続可能性への世界的な関心は責任ある企業がその手続きの法的検査を実施することを要求します。世界的な毛皮産業も例外ではありません。持続可能性へのこの産業の対応の主な例は国際毛皮硝染協会によって委託されたヨーロッパの毛皮硝染工場の独立した評価です。

毛皮貿易の持続可能性プロセスに基づいて、野生または養殖された毛皮製品を生産および販売するために、地方、地域、連邦および部族の法律/規制に準拠する必要があります。

さらに、この報告書で指摘されているように、毛皮産業は長期透明性手続きを確立しています。それだけでなく、毛皮産業は多くの指標で良好な成績をあげており、特定の分野での課題を特定し、生産、消費、排出量のバランスをとる方法を概説しました。これらの分野には、水の消費、廃水処理、エネルギーの節約と消費、排出ガス、化学物質の使用が含まれます。

天然毛皮環境保護証(FEC)

2017年に始まった毛皮環境保護証 (FEC) は国際毛皮協会と毛皮ヨーロッパの指導のもと、農場からオークションハウスでの販売、硝染、生産、衣服の処理、そして最終的な廃棄分解のプロセスを含んで、文件によって毛皮製品の環境への影響を証明する2年間のプロジェクトです。

独立した科学者の学術研究と毛皮サプライチェーンで収集されたデータに基づいて、この研究方法論はヨーロッパライフサイクルアセスメントプラットフォームISO 14040、政府の気候変動委員会及びGHG議定書の基準に従います。また、サプライチェーンに基づいて地球温暖化傾向 (GWP) を詳細に分析しました。

FECの目標は毛皮の環境パフォーマンスを継続的に改善し、ファーマリチェーンの統計データを提供するために、毛皮サプライチェーンの環境実践を分析する共通モデルを確立することです。この結果は毛皮の環境への影響の度合いについて消費者の視認性を高め、炭素消費を含む世界的な持続可能性の目標をベンチマークするのに役立ちます。FECはまた独立した第三者の利害関係者を通じて繊維および他の原材料の毛皮処理を行う予定です。

天然毛皮のリサイクル経済

定義上、天然毛は天然産物です。その特性を高めるために、最小限の量で処理してから小売することができます。適切な注意を払うと、天然毛皮の小売り期間は20年を超えることがあります(3)。毛皮はしばしば世代から世代に伝えられ、複雑な脱構築プロセスを必要とせずに容易に再構成して再利用することができます。後の消費段階では、廃棄物が大幅に削減されます。

ファッションデザイナーとのコミュニケーションにおいて、ファー業界は「リサイクル可能なファッション」のコンセプトを引き続き推進し、持続可能な発展の意思決定の影響をデザイン段階でサプライチェーンで増幅し、衣料品の使用時間を拡大できることを強調しています(4)。

(3)
国際織物協会(1988)は毛皮の平均寿命が少なくとも10年であり、他の材料から際立っていると述べています。[http:// www.fabricare.org/Images/Fair_claims_ guide\[1\].](http://www.fabricare.org/Images/Fair_claims_guide[1].)

DSS(2012)の「ライフサイクル分析の比較: ナチュラルファーと人工毛皮」報告書はファーコートの寿命が少なくとも36年であることを示しています。

[http://www.fureurope.eu/ wpcontent/up- loads/2015/02/LCA_-fi- nal-report.pdf.](http://www.fureurope.eu/wpcontent/uploads/2015/02/LCA_-fi-nal-report.pdf)

排泄物処理

(4)
[https://www.designskolenkolding.dk/en/ publications/sustainable-fur-cards](https://www.designskolenkolding.dk/en/publications/sustainable-fur-cards)
毛皮産業チェーンにおける毛皮動物の糞便および尿の酸性化と蒸発はアンモニア放出を生じます。したがって、動物廃棄物は定期的に収集され、適切に維持管理され、環境に悪影響を及ぼさないように処理されます。

MTT研究(MTTはフィンランド農業研究センターの略語で現在Luke <https://www.luke.fi/> EN /)に基づいて、毛皮動物養殖によって引き起こされるアンモニアおよび亜酸化窒素を減らすために、2011年にフィンランド毛皮動物養殖協会が開発計画を開始しました。排出削減法には、動物飼料のアミノ酸含有量を増加させること、動物の過剰摂取を減らし、蒸発化合物を減らすことによって糞便を収集する方法を開発することが含まれます。さらに、異なる種および個々の動物飼料基準への遵守は潜在的に重要な緩和策です。

研究者は現在、栄養素をより効果的に分離してよりよく使用する方法を研究しています。これはコンポスト、熱分解、および生物蓄積によって行うことができます。また、動物糞便の新しい用途を調査する可能性もあります。

ナチュラルファー産業は責任があり、事業の核心は高い基準の動物福祉と持続可能性を追求するので

ナチュラルファー産業は責任があり、事業の核心は高い基準の動物福祉と持続可能性を追求するのです。

消費者、企業およびその他の利害関係者はファッションバリューチェーンの共同倫理問題に強い関心を示しています。この分野では、毛皮産業は消費者に選択の仕方を伝える最も高い透明性とコミットメントを提供します。

過去20年間で、毛皮業界が一般市民と接触する実践的なアプローチは農場のオープンデーでした。これらの年次イベントには数千人の国際観光客が参加し、毛皮農場の運営を目の当たりにしています。



農場のオープンデーは毛皮の養殖の噂や偏見を明らかにした中で重要な役割を果たし、消費者として求められた透明性を人々に提供しました。

農場のオープンデーは毛皮の養殖の噂や偏見を明らかにした中で重要な役割を果たし、消費者として求められた透明性を人々に提供しました。もちろん、毛皮産業における道徳と透明性に関する最も重要な問題の1つは動物福祉です。世界的に見ると、毛皮業界は可能な限り高い動物福祉基準を記録する一連の目を引く行動を開始しています。



動物福祉

毛皮業界は最新の科学的データに合致した最高の動物福祉基準を満たすことを期待しています。内容には適切な宿泊施設、栄養価の高い食糧と継続的な水の供給、受け入れられたバイオセーフティ・プロトコルでのベスト・プラクティスの適用による外部からの捕食者や疾病の回避、人道的な取り扱いと安楽死、獣医的ケアによって最適な状態を確保し、痛み、傷害、病気を防ぐ品質管理や遺伝的最適化を達成する飼育目的などを含んでいます。



Welfurプロジェクトはヨーロッパのトップクラスの科学者によって研究開発されています。

ヨーロッパ動物福祉プロジェクト-WELFUR

Welfurはヨーロッパの養殖農場におけるミンク、キツネ、フィンビッシュヒヒの認証を提供することを目的とした科学に基づいた動物福祉アセスメントプログラムです。第三者の評価者によってテストされ、パフォーマンスの低い農場はこの認証を受けません。認定基準は動物福祉に関する4つの原則(5)：良好な住所、良好な食糧、健康および適切な行動に基づいています。Welfurの目標は動物福祉の客観的な記録を通じて、ヨーロッパ全域の3,500以上の毛皮農場の認証を提供することです。オークションハウスは2020年以降、Welfur認定資格の毛皮のみを販売します。

(5)
<http://www.welfarequality.net/everyone>



Welfurの農場評価は動物および農場を観察した独立した評価者によって行われ、毛皮の農家が動物福祉基準を実施したかどうかを判断します。

北米の動物福祉規則

毛皮養殖農場

北米の毛皮農場は政府機関や地方行政機関によって管理されています。これらの機関は動物の福祉、環境の質および労働問題を監督し、処理します。さらに、米国とカナダはともに獣医師、動物科学者、動物福祉関係者によって厳格な養殖基準が定められています。米国は「ミンク農場の運営基準のガイドライン」では動物福祉問題の解決策を扱っています。これはカナダの「養殖ミンクのケアと処理規範」で詳細に説明されています。これらの福祉基準は第三者機関や農場によって評価されます。同時に、第三者の監査機関も検査を実施する必要があります。必要な基準を満たしている農場は認定を受けることができますが、それでもルーチンの評価を行う必要があります。いくつかのトップ大学で行われた科学研究は最新の情報を引き続き提供し、動物保護基準の改善と定期的な更新をもたらします。

FURMARKの2020年までの計画

野生の毛皮/狩猟

北米の野生の毛皮はすべての種の毛皮の持続可能性と動物福祉に関する規制を遵守し、絶滅の危機に瀕している種を保護する法律、規制、検査、監視システムを遵守しています。人間と環境が持続可能であることを保証することは毛皮収穫の時間や方法、毛皮製品の数の基礎です。モニタリングシステムはISO規格、ベストファーマネジメントプラクティスガイドライン（BMPGFM）、国際人道基準協定（AIHTS）など幅広い国際協定を通じて、部族、地方、州、地域、および連邦レベルで機能します。

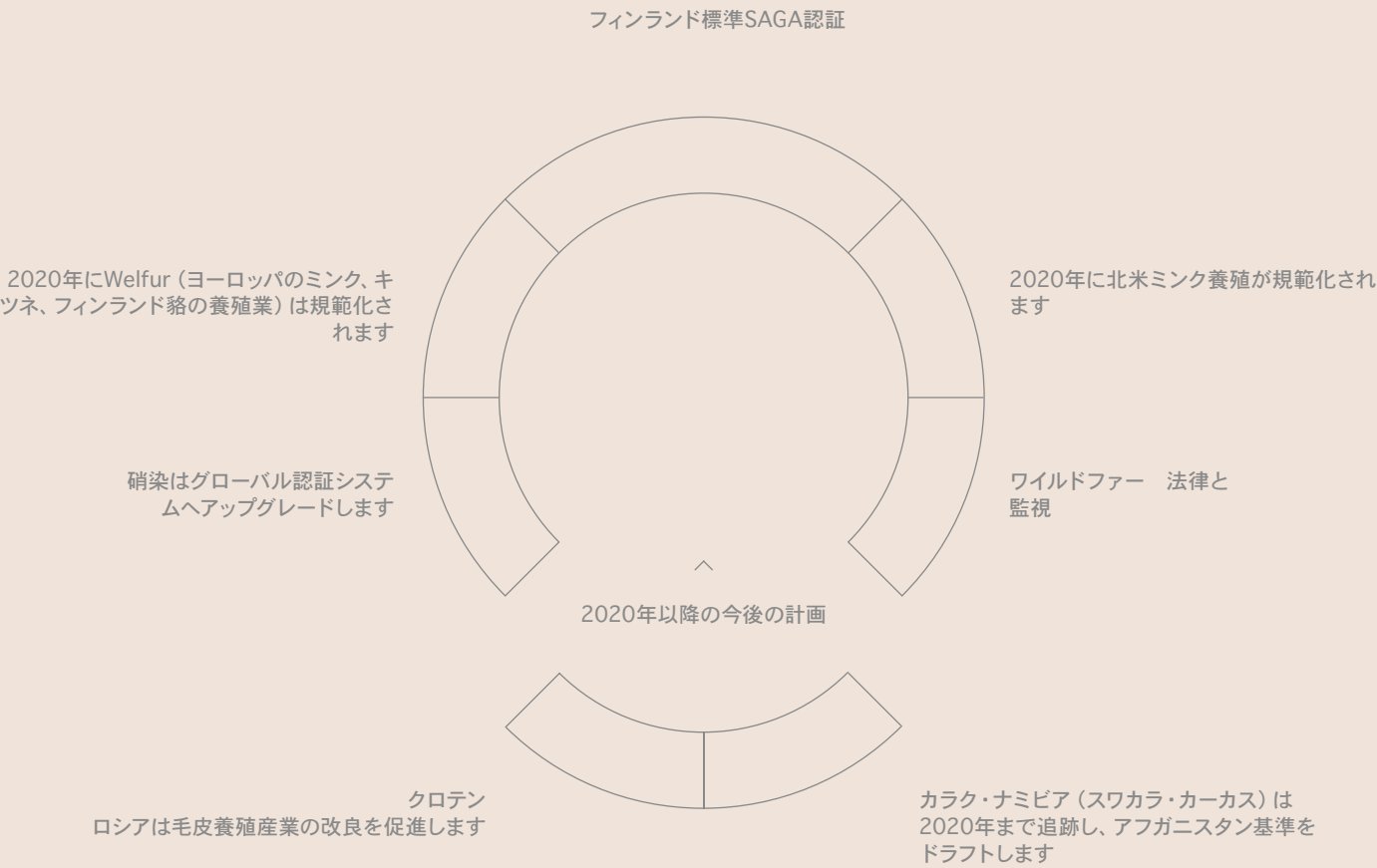
1983年以来、カナダ毛皮協会は世界で最も先進的な動物保護研究および認証プログラムを調整しています。カナダの政府と産業界はこの先駆的な研究を支えるために3000万ドル以上を投資しました。



北米の野生の毛皮は広範囲の法律、規制、検査、および管理システムの対象となります。

トレーサビリティー FURMARK

毛皮業界は消費者および市場のすべてのステークホルダーに対して明確で透明性のある行動をとることの価値を理解しています。これはバリューチェーンにおける製品の情報源に関する明確な情報を提供することを意味します。





毛皮業界は消費者が選択できる透明性とコミットメントを最高水準で提供します

これらのプロセスは持続可能性、動物福祉および毛皮硝染をカバーする総合的な認証およびトレーサビリティプロジェクトであるFUR-MARKの発展に貢献しています。

異なる動物福祉認証プログラムはトレーサビリティのためのプラットフォームを提供し、プロセスに地域的な違いがあるが、すべての合意は科学的であり、独立した専門家によって承認され、公に利用可能でなければなりません。

Furmarkは消費者、ブランド、社会に高い福祉性、環境性、持続可能性の基準を満たしている企業が毛皮製品を生産するという幅広い保証を提供しています。

毛皮産業は現在、安全で効果的なシステムを開発するためにトレーサビリティソフトウェアサービスの協力の可能性を模索し、次の要素を含んでいます。
認定毛皮は他の毛皮から分離しなければなりません。これは消費者とパートナーが購入するファッションメリットの基準と持続可能性に自信を持っていることを可能にします。

外部の当事者が積極的にまたは受動的にプログラムへの信頼を弱めるのを防ぐために、強力な中央監視が維持されなければなりません。

システムはRFIDタグなどの新技術に適応しなければなりません。

野生の毛皮の追跡

北米の野生の毛皮の狩猟者は通常に特定の地域や種の強制捕獲ライセンスを必要とします。これは捕獲可能な種、捕獲の数、および捕獲の時間を特定します。狩猟期の終わりに毛皮を販売するとき、法律によれば、ハンターはバイヤー（オークションハウスや毛皮購入者など）に連絡先情報を提供し、ライセンス番号を取得し、販売された種の数記録する必要があります。売却が完了すると、この文書はサプライチェーン全体のすべての取引とともにオークションハウス、購入者またはもっと遠いところに送付されます。

野生の毛皮のハンターは委託のために毛皮をオークションハウスに送ることを選択します。分類と格付けの前に、各野生の毛皮は単一のハンターまたはソースに追跡される可能性があるラベル付きチケットで識別されます。一度販売されると、それは毛皮の買い手に渡されます。

サプライチェーン内のどこに位置していても、収集された生の毛皮を文書化しなければならないが、絶滅のおそれのある野生動植物の国際取引に関する条約（CITES）の付属書IIの種は特殊な許可が必要です。

第四章



ナチュラルファーは長い伝統を持つモダンな素材で、さまざまな年齢層のデザイナーや消費者を魅了しています。

ナチュラルファーは長い伝統を持つモダンな素材で、さまざまな年齢層のデザイナーや消費者を魅了しています。



天然毛皮は伝統的で柔軟性があるモダンです。毛皮業界は革新に重点を置いています。業界では、新しい毛皮工芸品の開発に専念する多数の毛皮デザインセンターがあり、世界中のビジネスパートナーとその結果を共有しています。世家ファーデザインセンター（フィンランド）、コペンハーゲンファースタジオ（デンマーク）、北米ファーオークションハウス（カナダ）、Fur Lab（オランダ、ポーランド）、Centro Studi AIP（イタリア）は重要なデザインセンターです。

最新のファッションコレクションには、古典的で新しいデザインと実用性を組み合わせた高品質の毛皮の衣類が含まれています。一部のモデルには異なる方法で結合するか、個別に使用できる個別のパーツが含まれています。多様性と典型的なデザインは資源を節約し、衣服のサービス寿命を延ばし、着用者が長期間にわたって衣服を楽しむことができるようにします。

ケースは次のとおりです。

2017-2018年に、コペンハーゲンファースタジオの衣類は毛皮の形を保ち、その寿命を延ばすための支持材料で手縫いされています。

Saga Furs 世家ファーには、キツネの毛皮と生地を組み合わせなどの伝統的なプロセスを向上させる多くの新技術があります。他の織物や素材を組み合わせることで、キツネは柔らかく軽いです。これには、50%のキツネ毛とカシミアを組み合わせたキツネのスキン混在カシミア技術も含まれます。

一連のNAFA北米毛皮オークションハウスはさまざまなファブリックブレンディング技術を使用しています。例えば、高級ビーバー/カシミア混合生地を製造するためにビーバースキンが使用されます。さらに、数百の新技術を共同開発するために、毛皮商とデザイナー（Yves Salomonを含む）との協力もあります。

新世代

毛皮産業には、養殖者、競売人、職人、デザイナーの新世代を最高レベルで支援するための教育訓練コースが多数あります。夏期学校、競技会（Vogue Magazineが主催するIFF REMIXグローバルファーデザインコンテストなど）、プロモーション計画、ワークショップ、デザインコラボレーション、分類、格付けおよびオークションコース、インターンシップおよび見習い制度などがあります。多くの有名な業界企業（コペンハーゲンファー、世家ファー、北米ファーオークションハウスなど）はエキサイティングな新しいビジネスと革新的なデザイン製品を開発するプロジェクトに直接携わっていました。



結論

世界で最も古い産業の一つとして、毛皮産業は長い歴史を誇りに思っています。デザイナーは天然毛皮を何十年も使っており、現在では世界中で何百万もの雇用機会を創出しています。

高い動物福祉と環境基準がビジネスの核心です。毛皮産業は科学に基づいており、厳しい基準を確立するための独立した検査に依存しています。サステナビリティは現在の業界のスローガンです。私たちは提案された革新的な手順と解決策がより成功した毛皮時代の始まりを目撃することを願っています。



